

英語 北海道大学 総合入試【理系】、総合入試【文系】、学部入試【全学部】

<全体分析>

試験時間

90分

解答形式

記述・客観併用

分量・難易（前年比較）

分量 減少・やや減少・変化なし・やや増加・増加

難易（易化・やや易化・変化なし・やや難化・難化）

出題の特徴

例年通りの読解総合2題、英語表現1題、要約文完成1題の出題であった。読解問題は内容把握に重点が置かれた出題となっている。表現問題は英語の文章を読んだ上で英文を書くという独自の出題形式。さらに会話文の要約文を完成させる問題も独自の出題形式。

その他トピックス

- ・長文読解問題の英文の総語数：昨年度より全体で700語ほど減少した。
- ・下線部和訳問題が4題から2題に減り、一方で日本語による内容説明問題と理由説明問題が出題された。

<大問分析>

| 番号 | 区分 | 出題分野・テーマ | コメント（設問内容・答案作成上のポイントなど） | 難易度 |
|----|----------|--------------------------------|---|--|
| 1 | 読解総合 | 脳トレゲームの効果 (682語) | 1. 下線部を日本語に訳す。 2. 2つの空欄に共通して入る適切な語を選ぶ。 3. 空欄に入る適切な語句を選ぶ。 4. 下線部の指す内容を、指定された表現を用いて具体的に説明する。 5. 下線部の意味する内容として適切なものを選ぶ。 6. 内容に <u>一致しないもの</u> を選ぶ。(6から2) | やや難 易 やや易 やや難 標準 標準 |
| 2 | 読解総合 | なぜ嘘を見破ることが難しいのか (685語) | 1. 第1パラグラフの目的として適切なものを選ぶ。 2. 2つの空欄に入る語の組み合わせとして、適切なものを選ぶ。 3. 下線部を日本語に訳す。 4. 下線部の具体例を2つ文中から抜き出す。 5. 下線部のように主張する理由を説明する。 6. 内容に <u>一致するもの</u> を選択する。(6から2) | 標準 標準 標準 やや易 標準 標準 |
| 3 | 英語表現 | 電子書籍の利点と欠点 (350語) | A 本文の内容に合うように文を完成する。 B 本文の内容に合うように文を完成する。 C 環境的な理由から紙の教科書を電子書籍に変えるのは良い考えかどうか。(70語から100語) | 標準 標準 標準 |
| 4 | 要約文の空欄補充 | 海外留学をめぐる会話文(526語) 要約文(313語) | 会話文の要約文を完成する。 (空欄12カ所、選択肢24) | 標準 |

難易度は5段階「易・やや易・標準・やや難・難」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として、判断しています。

<学習対策>

- 北大の読解問題は、毎年設問形式に若干の変化は見られるものの、精読力と速読力の両方を求めている点は同じである。したがって、正確に構造を把握し、指示語の内容を丹念に捉え、意味がはっきりしない表現や内容を文脈から判断する読み方と、論旨の流れを速やかに捉える読み方の両方の完成をめざす必要がある。今年は例年より英文の分量は減ったが、来年以降は分からない。したがって、800語程度の英文は一気に読み通すことができるようにしておきたい。また時間内に解き終わるためには、内容一致文の選択肢と本文を速やかに対応させる訓練もする必要があるだろう。今年はほぼ本文の順番通りに選択肢が並んでいたが、例年は異なる場合の方が多い。
- 英語表現問題の Question A、B に関しては、設問に答えるための必要な情報をすばやく探し出し、下線部の前後の英文から書くべき形と内容を判断する。そのまま対応箇所を書くことはできないので、基本的な書き換えのパターンを身につけると同時に、表現を読み替える訓練も必要である。また、Question C に関しては、あるテーマに関して、自分の考えの根拠を分かりやすく表現していく練習を積む必要がある。しかし、そのような実践的訓練をする前に、基本的な英文を正確に書けるようにしておくのは言うまでもない。
- 要約文完成問題は「空欄に入る品詞」を判断し「意味」を類推することで、要約文だけでもある程度解答できるようにしておく必要がある。さらにコロケーションの知識がかなり重要になることが多いので、ふだん英文を読む際に単語や語句の使われ方に注意を払っていることが正答を判断する上で重要になる。さらに文と文のつながりを意識した読み方をする事で意味を類推する力が養われるであろう。